

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MSC TECHNICAL NEWS

No. M720-2-8604

MELPS720シリーズ 開発ツール使用上の注意事項

(1) SZD命令の使用方法について

SZD命令の使用上の注意点について、アセンブラの仕様を以下のように変更します。

[命令変更内容]

SZD命令はDI命令とのペアで使用して下さい。

このためSZD命令実行後はDI(割り込み禁止)状態となるため必要に応じEI命令を実行して下さい。

動作の詳細については次頁を参照下さい。

[アセンブラの変更内容]

V. 1. 3以上のアセンブラでは、SZD命令はDI命令のコードを先行して自動生成します。

(2) 1ワード2サイクル、又は3サイクル命令のデバッグについて

1ワード2サイクル命令、又は3サイクル命令は、M50720-XXXSPでは3命令(RT, RTS, TABP)ありますが、この命令はスキップ時1サイクルで実行されます。

スキップされるかどうかは、外部ステータスでは判定できないため、専用ボードではこれらの命令を常に2サイクル、又は3サイクルとして判断しています。

このためデバッグ時にRUN(SDT720ではGコマンド)以外でプログラムを実行する場合、これらの命令後に2サイクル命令が置かれると、CPUが誤動作することがあります。

従ってこのようなケースではデバッグ時のみ、これらの命令後にNOPを挿入してお使い下さい。(RT、RTS命令後はNOPを1個、TABP命令後はNOPを2個)